

令和4年度 東京都入札監視委員会第2回制度部会 審議概要

開催日及び場所	令和4年5月31日（火） 東京都庁第一本庁舎特別会議室 N2										
出席委員	<table border="0"> <tr> <td>東京大学大学院工学系研究科教授</td> <td>堀 田 昌 英</td> </tr> <tr> <td>愛知大学地域政策学部地域政策学科准教授</td> <td>斉 藤 徹 史</td> </tr> <tr> <td>(元)品川リフラクトリーズ(株)代表取締役副社長</td> <td>仲 田 裕 一</td> </tr> <tr> <td>弁護士(五十嵐・渡辺・江坂法律事務所)</td> <td>原 澤 敦 美</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(敬称略・計4名)</td> </tr> </table>	東京大学大学院工学系研究科教授	堀 田 昌 英	愛知大学地域政策学部地域政策学科准教授	斉 藤 徹 史	(元)品川リフラクトリーズ(株)代表取締役副社長	仲 田 裕 一	弁護士(五十嵐・渡辺・江坂法律事務所)	原 澤 敦 美		(敬称略・計4名)
東京大学大学院工学系研究科教授	堀 田 昌 英										
愛知大学地域政策学部地域政策学科准教授	斉 藤 徹 史										
(元)品川リフラクトリーズ(株)代表取締役副社長	仲 田 裕 一										
弁護士(五十嵐・渡辺・江坂法律事務所)	原 澤 敦 美										
	(敬称略・計4名)										
審議事項	総合評価方式における技術点の一部見直しについて										
議案の概要	総合評価方式における女性活躍推進の拡充について、目的、背景、適用対象や検討の方向性等について説明を受けた。										
委員会による審議結果報告	委員からの意見を踏まえて、今後の制度設計に生かしていくよう、引き続き事務局において検討を進めることとする。										
事務局からの報告	事務局案の説明を行った。										
委員からの意見等の概要	<p>【委員からの質問等】</p> <p>行動計画を策定し届け出ると点数が与えられるが、これは会社ごとなのか、それとも事業所ごとなのか。また、会社で認定を受けるとした場合、この期間全体に対して点数が常に加点されるということか。</p> <p>【事務局の回答】</p> <p>事業所ではなく会社として計画を作るという定めになっている。また、ゴールとしては、行動計画を作るのではなく、やはり、えるぼし認定あるいは女性活躍推進大賞を取っていただくことと考えているので、計画策定による加点はあくまで2年経過するまでの期間限定で考えている。</p> <p>【委員からの質問等】</p> <p>えるぼし認定で策定する行動計画は、会社全体における計画なので、管理部門の女性が活躍しても認定を受けることができる。それはそれで会社全体の底上げになるので建設業界の発展に寄与すると思うが、最終的な目標を現業での女性活躍に置くのであれば、もう一步踏み込んでいかないと、現業における女性活躍は進まないのではないかと思う。これについては女性活躍のモデル工事があるが、その辺りをさらに一步踏み込んでいくことも今後をご検討いただきたい。</p> <p>【事務局の回答】</p> <p>女性活躍について、契約制度だけでなく、モデル工事を含めたいろいろな視点から取組は進めていかなければ実現できないものと考えており、我々としても全庁で協力しながら進めているところである。</p> <p>一方で、契約制度においては総合評価の中で、建設業という視点ではなく、いわゆる一般の事業者として、今回の女性活躍のような自発的な取組などを</p>										

行った際に企業の信頼性・社会性という面で加点評価している。

建設業における担い手育成の視点から、技術者を評価する際に女性あるいは若手の技術者の方の場合には、さらに加点の幅を増やし、企業の技術力を評価することも行っている。

こうした建設業特有の課題に対し、技術力と社会性の両面から女性活躍についてしっかりと進めてまいりたいと考えている。

【委員からの質問等】

今回の総合評価方式による方法以外に、他の制度の中でこういった内容を見ることはできるのか。

【事務局の回答】

総合評価以外でもどのような方法が良いか議論し、例えば、計画を作成した事業者を優先して指名する案や計画を作成した事業者のみが参加できるモデル工事を発注するという案なども考えたが、公平性、公正性、不調の発生なども踏まえ、計画策定の有無が入札参加のハードルにはならず、個別の案件での加点により事業者の受注意欲を高める効果もあるのではないかとということで、総合評価での加点が一番望ましいと考えて今回提案した。

【委員からの質問等】

制度の今回の改正の背景と現状についていろいろと整理ができ、今後の方向性についても、貴重な示唆をいただいた。

この女性活躍推進を拡充することについて、ただいまいただいたご意見を事務局の皆様には十分踏まえていただき、最終的な制度設計をする中で検討していきたい。

[その他]

特になし